



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 ショクブン

コード番号 9969 URL <http://www.shokubun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 公

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 田野 光夫

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日

TEL 052-773-1011

平成23年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,148	△0.1	76	—	31	—	5	—
23年3月期第2四半期	5,153	△0.8	△14	—	△71	—	△96	—

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 49百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △115百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	0.51	—
23年3月期第2四半期	△8.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	10,607		3,076		29.0
23年3月期	10,594		3,110		29.4

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 3,076百万円 23年3月期 3,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
24年3月期	—	3.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,340	5.8	401	65.0	281	92.5	125	—	11.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	11,856,669 株	23年3月期	11,856,669 株
24年3月期2Q	931,750 株	23年3月期	831,666 株
24年3月期2Q	10,996,391 株	23年3月期2Q	11,117,376 株

## ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューが実施中です。

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項.....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におきましてわが国では、米国における景気低迷、欧州の通貨不安に伴う円高の加速等の企業活動に多大な影響を与える要因が、景気回復の大きな足かせになり、個人消費が伸び悩む厳しい状況が続きました。

また、先の東日本大震災の復興・復旧には多大な時間を要することが予想され、経済的、社会的に先行きが不透明な状況で推移しました。食品業界におきましては、震災に伴い発生した福島原発事故による放射性物質の拡散を原因とする様々な風評も重なり、生活の根幹である「食」の安全性に対する関心が高まり、消費者の食品を選択する基準は厳しさを増しております。当社グループはこのような状況下において、お客さまの健康を第一に考え、安全で安心のできる美味しい食材をお届けするという経営の基本に立ち返り、お客さまに安心してご利用いただけるよう努めてまいりました。

結果、売上面では、主力のレギュラーメニューについては、売上高は47億65百万円（前年同四半期比100.3%）になり、特売商品については、売上高が1億59百万円（前年同四半期比107.0%）になりました。その他、ヘルシーメニュー売上高は2億24百万円（前年同四半期比89.0%）になりました。また、9月より、メニュー冊子を一新するとともに、新たなメニューの展開を開始いたしました。これにより、今まで以上に多様な選択が可能になるなど、今後に向けて受注軒数、売上高の更なる増加を図ってまいります。

一方、震災の影響に加えて今夏の猛暑並びに台風などにより、葉菜類をはじめとする生鮮野菜等の価格の高騰や品不足に直面しましたが、お客さまへ安定的に商品をお届けすべく食材の確保への取り組みを全力で行いました。また、生産体制を見直し、生産効率を向上させることで、コストを前年同四半期に比べ2.1%（13百万円）の削減を達成したこともあり、売上原価率は57.8%と前年同四半期に比べ0.7ポイント減少しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は51億48百万円（前年同四半期比99.9%）、経常利益は31百万円（前年同四半期は71百万円の経常損失）になり、四半期純利益は5百万円（前年同四半期は96百万円の四半期純損失）になりました。

### （2）連結財政状態に関する定性的情報

資産の部では、減価償却により有形固定資産が34百万円減少しましたが、投資有価証券が47百万円増加したこと等により、資産合計は前連結会計年度末に比べ12百万円増加の106億7百万円になりました。

負債の部では、社債（1年内償還予定の社債を含む。）が1億7百万円、支払手形及び買掛金が53百万円減少しましたが、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）が2億27百万円増加したこと等により、負債合計は前連結会計年度末に比べ47百万円増加の75億31百万円になりました。

純資産の部では、株価上昇によるその他有価証券評価差額金が44百万円増加しましたが、配当金の支払いが38百万円、自己株式の増加が45百万円生じたこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ34百万円減少の30億76百万円になりました。

### （3）連結業績予想に関する定性的情報

当社連結グループの連結業績予想については、平成23年5月10日に公表しました予想数値に変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,555,166	1,577,656
受取手形及び売掛金	17,576	11,285
原材料及び貯蔵品	108,215	100,427
繰延税金資産	63,539	61,255
その他	38,662	53,308
貸倒引当金	△122	△122
流動資産合計	1,783,037	1,803,812
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,606,616	1,553,707
土地	5,843,822	5,843,822
その他(純額)	256,996	275,792
有形固定資産合計	7,707,435	7,673,322
無形固定資産		
	50,950	47,782
投資その他の資産		
投資有価証券	295,784	343,768
繰延税金資産	23,936	24,157
その他	764,618	745,717
貸倒引当金	△31,075	△31,075
投資その他の資産合計	1,053,264	1,082,568
固定資産合計	8,811,650	8,803,672
資産合計	10,594,688	10,607,485
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	418,880	365,314
短期借入金	1,055,000	1,068,000
1年内返済予定の長期借入金	1,168,865	1,297,501
未払法人税等	51,901	27,477
賞与引当金	102,000	92,300
その他	626,373	536,330
流動負債合計	3,423,021	3,386,923
固定負債		
社債	229,000	198,000
長期借入金	3,675,324	3,773,720
退職給付引当金	3,104	4,389
資産除去債務	22,221	22,460
その他	131,508	145,898
固定負債合計	4,061,157	4,144,468
負債合計	7,484,179	7,531,392

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,148,010	1,148,010
資本剰余金	1,616,944	1,616,944
利益剰余金	865,690	832,665
自己株式	△501,602	△547,248
株主資本合計	3,129,042	3,050,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△18,533	25,721
その他の包括利益累計額合計	△18,533	25,721
純資産合計	3,110,508	3,076,093
負債純資産合計	10,594,688	10,607,485

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	5,153,998	5,148,541
売上原価	3,012,652	2,975,875
売上総利益	2,141,346	2,172,666
販売費及び一般管理費	2,156,148	2,095,757
営業利益又は営業損失(△)	△14,802	76,909
営業外収益		
受取利息	3,870	4,951
受取配当金	2,217	3,133
受取手数料	4,435	5,327
受取賃貸料	2,272	2,894
その他	1,597	1,901
営業外収益合計	14,393	18,209
営業外費用		
支払利息	55,328	58,646
投資有価証券運用損	12,907	2,100
その他	2,713	2,603
営業外費用合計	70,949	63,351
経常利益又は経常損失(△)	△71,358	31,767
特別利益		
賞与引当金戻入額	11,909	—
特別利益合計	11,909	—
特別損失		
固定資産除却損	4,016	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11,404	—
特別損失合計	15,420	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△74,869	31,767
法人税、住民税及び事業税	21,085	25,970
法人税等調整額	732	233
法人税等合計	21,817	26,204
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△96,687	5,563
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△96,687	5,563

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△96,687	5,563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,229	44,254
その他の包括利益合計	△19,229	44,254
四半期包括利益	△115,916	49,817
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△115,916	49,817



(3)継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成24年3月期 第2四半期決算短信(発表資料の要約)

当社の平成24年3月期 第2四半期決算につきまして、配布の決算短信のとおり発表させていただきます。

1. 業績について

イ 当第2四半期累計期間の業績

	(連結)		(個別)	
		前年同期比		前年同期比
売上高	51億48百万円	99.9%	51億43百万円	99.9%
営業利益	76百万円	—%	51百万円	—%
経常利益	31百万円	—%	36百万円	—%
当期純利益	5百万円	—%	20百万円	—%
1株当たり当期純利益	0円51銭		1円88銭	

(注) 当社の連結対象子会社は、株式会社食文化研究所1社であります。

- ① 売上高は51億48百万円になりました。昨今の景気の低迷、東日本大震災の影響等先行きが不透明な状況の下、お客さまの健康を第一に考え、安全で安心のできる美味しい食材をお届けするという経営の基本に立ち返り、お客さまに安心してご利用いただけるよう努めてまいりました。その結果、ほぼ前年同期並みになりました。
- ② 経常利益は31百万円(前年同期は△71百万円)になりました。震災の影響や今夏の猛暑により、生鮮野菜等の価格は高騰しましたが、仕入価格の上昇による影響を最小限に抑えるとともに、生産体制を見直し、生産効率を向上させることで、売上原価が減少した結果、売上総利益が増加したことによるものであります。また、販売費及び一般管理費におきまして、費用対効果を考慮し、コストの削減に努めた結果、前年同期に比べ60百万円削減したことによるものであります。
- ③ 以上の結果、四半期純利益は5百万円(前年同期は△96百万円)になりました。

ロ 通期の業績予想

	(連結)		(個別)	
		前年同期比		前年同期比
下期				
売上高	61億92百万円	111.2%	61億70百万円	111.0%
営業利益	3億25百万円	126.5%	2億88百万円	124.1%
経常利益	2億50百万円	115.2%	2億13百万円	111.5%
当期純利益	1億20百万円	153.8%	93百万円	147.6%
通期		前期比		前期比
売上高	113億40百万円	105.8%	113億13百万円	105.7%
営業利益	4億01百万円	165.0%	3億39百万円	176.6%
経常利益	2億81百万円	192.5%	2億49百万円	200.8%
当期純利益	1億25百万円	—%	1億13百万円	—%
1株当たり当期純利益	11円34銭		10円25銭	

## 2. 株主還元策について

### イ 配当金

当中間配当金	1株当たり3.5円にさせていただきます。
期末配当金予想	1株当たり3.5円を予定しております。(年間7円を予定しております。)

### ロ 株主優待策

毎年3月31日及び9月30日現在の当社株式1千株以上所有の株主に対し、半期8千円(通期1.6千円)相当の自社製品を進呈いたします。(従来どおり)

## 3. 財政状態について

財政状態は、決算短信2ページ(2)連結財政状態に関する定性的情報に記載のとおりです。

自己資本比率は、前期末の29.4%から29.0%になりました。この主な理由は、その他有価証券評価差額金が増加しましたが、利益剰余金の減少及び自己株式の買取で純資産が3.4百万円減少したことによるものであります。

## 4. 設備投資について

当第2四半期 累計期間	設備金額	7.3百万円 主なものは 設備更新等 リース資産	1.1百万円 6.2百万円
	減価償却費	1億9百万円	
通期予想	設備金額	当第2四半期累計期間分を含め、1億円を予定しております。 設備更新等	1億円
	減価償却費	2億1.0百万円	

## 5. 通期の見通しについて

下期につきましては、9月より、メニュー冊子を一新するとともに、新たなメニュー展開を開始いたしました。これにより、今まで以上に多様な選択が可能になるなど、今後に向けて受注軒数、売上高の更なる増加を図ってまいります。また、年末商戦に力を注ぐことで売上の増加が期待できるものと考えております。

一方で、仕入製造部門におきましては、原発事故を含む震災による影響や天候等により、今後とも仕入業務に影響を及ぼす要因は続くものと思われませんが、仕入価格上昇の影響を最小限に努めつつ、お客さまへ安定的に商品をお届けすべく食材の確保に全力で取り組んでまいります。加えて、継続的に生産体制を見直し、生産効率を向上させることで、着実に利益を確保できるように努めてまいります。

以上、当第2四半期連結累計期間の業績の結果及び下期の見通しにより、通期の業績につきましては、前回発表予想(平成23年5月10日発表)どおり、売上高は11.3億4.0百万円、営業利益は4億1.0百万円、経常利益は2億8.1百万円、当期純利益は1億2.5百万円を予定しております。

以 上